

2013年3月期 連結決算ハイライト

阪和興業株式会社

(単位：億円 億円未満切捨て)

2013年3月期 決算の概要

・本年度決算は、鉄鋼や金属原料事業での販売価格の低下などにより、売上高は前期比3%減の15,113億円となりました。また、当期純利益は投資有価証券評価損の減少などにより、前期比2%増の47億円となりました。

・中間配当4円、期末配当見込み8円と合わせて、年間配当は12円を予定しております。

経営成績	当期	前期	前期比		主な要因
			増減	増減率	
売上高	15,113	15,642	△529	△3%	(売上高) 鉄鋼、非鉄金属事業において、販売数量は前期比増量となったが、販売価格の下落により、前年同期比3%の減少となった。 (販管費) 前期比で3%の増加となった。その内、人件費は退職給付費用の増加などにより約5億円の増加に。大きな貸倒は、当期も発生していないが、来期清算予定子会社向け債権引当により、貸倒引当金繰入が約5億円発生。 (営業外損益) 為替差益の減少などにより、営業外収入は30%の減少に、営業外費用は為替差損の増加などにより18%の増加となった。 (特別損益) 株式市況の下落などによる投資有価証券評価損約12億円、大阪本社移転に伴う損失約6億円を計上した。
売上総利益	447	463	△16	△3%	
販管費	322	313	9	3%	
営業利益	124	149	△25	△17%	
営業外収益	21	30	△9	△30%	
営業外費用	57	48	9	18%	
経常利益	88	131	△43	△32%	
特別利益	—	—	—	—	
特別損失	20	46	△26	△56%	
税引前当期純利益	68	84	△16	△19%	
法人税等	20	37	△17	△45%	
少数株主利益	0	1	△1	△39%	
当期純利益	47	46	1	2%	
E P S	22.78円	22.35円	0.43円	2%	
当期包括利益	66	62	4	6%	

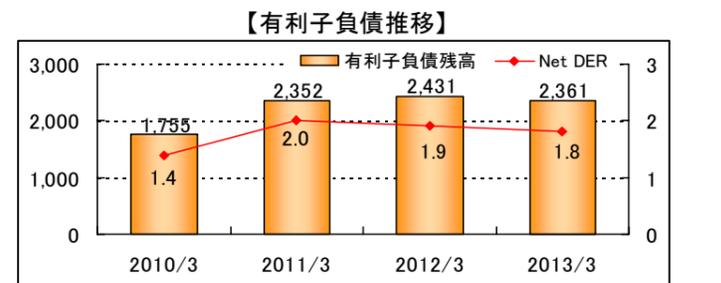
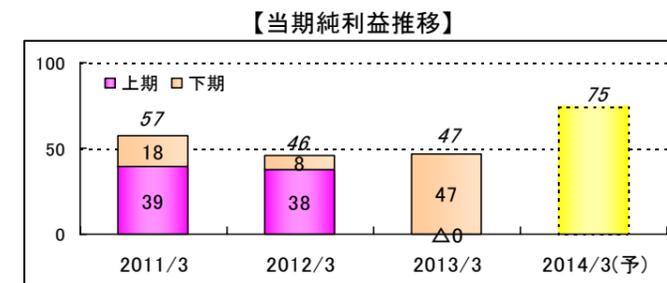
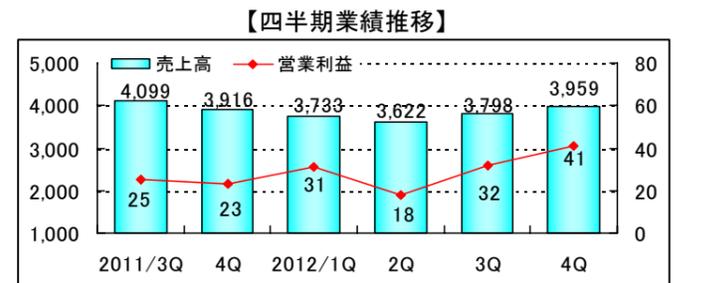
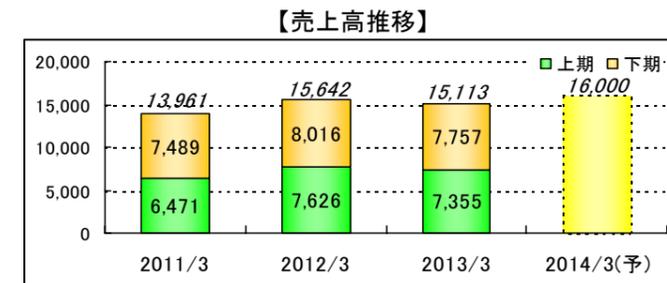
財政状態	当期末	前期末	前期比		主な要因
			増減	増減率	
総資産	5,529	5,824	△295	△5%	(総資産) 売上高の減少に伴う売上債権やたな卸資産の減少により、前期末比5%の減少となりました。 たな卸資産 966億円(前期末比 △13%)
(流動資産)	4,353	4,679	△326	△7%	
(固定資産)	1,176	1,144	32	3%	
負債	4,322	4,664	△342	△7%	(負債) 売上高の減少に伴う仕入債務の減少や借入金の減少などにより、前期末比7%の減少となりました。 有利子負債は3%減少し、ネットDERも若干改善の1.8倍となりました。
(グロス有利子負債)	2,361	2,431	△70	△3%	
(ネット有利子負債)	2,128	2,195	△67	△3%	
Net DER	1.8倍	1.9倍	△0.1倍	△7%	
純資産	1,206	1,159	47	4%	(純資産) 当期純利益の積み上がりや為替換算調整勘定の改善により、前期末比4%増加し、自己資本比率は21.4%(前期末比 +1.9ポイント)となりました。
(株主資本)	1,170	1,142	28	3%	
(その他の包括利益累計額)	11	△5	16	—	
(少数株主持分)	24	23	1	5%	
B P S	570.50円	548.22円	22.28円	4%	
自己資本	1,182	1,136	46	4%	
自己資本比率	21.4%	19.5%	1.9pt	—	

キャッシュ・フロー	当期	前期	前期比		主な要因
			増減	増減率	
営業活動によるCF	193	119	74	62%	(営業CF) 売上債権やたな卸資産の減少などにより、+193億円。 (投資CF) 有形固定資産の取得などにより、△51億円。 (財務CF) 短期借入金の返済などにより、△163億円。
投資活動によるCF	△51	△120	69	△57%	
財務活動によるCF	△163	15	△178	—	
現金及び現金同等物	231	234	△3	△1%	

セグメントの状況	売上高			セグメント利益(経常利益)			主な要因
	当期	前期	増減率	当期	前期	増減率	
鉄鋼	7,181	7,450	△4%	95	93	3%	(鉄鋼) 製造業向け、建設土木向けともに需要は堅調推移も、第3四半期までの市況下落が収益を圧迫。為替環境の好転により利益は若干増加。 (金属原料) ステンレス需要の低迷により、市況・需要ともに軟調な推移に。スクラップの仕入れコスト上昇や為替差損の発生も利益を押し下げた。 (非鉄金属) 需要は堅調も、市況は前期に比べ低水準。貴金属屑類の扱い増などにより増収だったが、為替差損の影響が大きく減益に。 (食品) 国内需要は低調推移。養殖サケが続落し、他魚種の市況・消費にも悪影響。エビ価格の長期低迷も業績を下押しした。 (石油・化成品) 原油市況は概ね弱含み推移。景気低迷による産業用燃料や船用石油販売の伸び悩みに加え、仕入れ価格の上昇により減収減益となった。
金属原料	947	1,262	△25%	3	12	△75%	
非鉄金属	732	620	18%	6	8	△19%	
食品	838	917	△9%	7	11	△37%	
石油・化成品	4,442	4,575	△3%	16	26	△37%	
報告セグメント計	14,142	14,826	△5%	130	153	△15%	
その他	1,674	1,398	20%	12	16	△28%	
合計	15,817	16,224	△3%	142	170	△16%	
調整額	△704	△582	△21%	△53	△39	△37%	
PL計上額	15,113	15,642	△3%	88	131	△32%	

トピックス

- ・11月 水産物の内販会社として、ハンワフーズ(株)を設立
- ・11月 HANWA MEXICANA, S.A. DE C.V. をメキシコシティに設立
- ・2月 非鉄金属リサイクル加工合弁会社PT. HANWA ROYAL METALS (インドネシア) を設立
- ・2月 HANWA THAILAND CO., LTD. ミャンマー支店開設
- ・3月 鋼材卸売業の三栄金属(株)の株式取得合意



来期の見通し	来期業績予想	当期実績	対前期増減率
売上高	16,000	15,113	6%
営業利益	147	124	18%
経常利益	125	88	41%
当期純利益	75	47	59%

配当の状況	前期実績	当期実績	来期予想
中間配当	6.00円	4.00円	6.00円
期末配当	6.00円	8.00円	6.00円
年間配当	12.00円	12.00円	12.00円
配当性向	54%	53%	33%